



## Ⅱ 総合戦略編

## ■ 戦略 1 若者定着

若者の地元定着やU・Iターンを促進するため、若者自らが魅力を生み出すまちづくりを進めます。

### 定性目標

若者が楽しんで可能性を広げていくことにつながる学びや体験の機会を充実させます。

### 数値目標

|   |  |
|---|--|
| 若者定着を促進し、若年層（15 歳～34 歳）の転入者に対する転出者超過率を抑制します。                | 転出者超過率 <sup>※1</sup> 114.5% → 105%<br>(平成 30 年) (令和 6 年) |
| 「長岡に住みたい、住み続けられる」指標として、市内 4 大学・1 高専・15 専門学校卒業者の市内就職率を伸ばします。 | 市内就職率 <sup>※2</sup> 20.7% → 25%<br>(平成 30 年度) (令和 6 年度)  |

※1 新潟県人口移動調査：前年 10 月 1 日から各年 9 月 30 日までの集計数値（県統計課）

※2 市内 4 大学・1 高専・15 専門学校就職・インターンシップ調査（ながおか・若者・しごと機構実施）

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>基本施策<br/>1 - 1</b> | 若者が夢を実現できる魅力的なまちを目指して、若者の主体的な活動のサポートとまちづくりへの参画を促し、若者の定着を促進します。  |
| <b>主な施策</b>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 若者のまちづくりへの参画、長岡を盛り上げるためのアイデアの実現など、若者が自ら考え、取り組む活動を長岡市全体で総力をあげてサポートします。</li> <li>● 4 大学 1 高専 1 5 専門学校等と、人材育成や産業の活性化など幅広い分野で連携し、学生の発想力や新しい視点と、大学の専門知識や技術を活かしたまちづくりを推進し、魅力ある長岡を目指します。</li> </ul> |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/>1 - 2</p> | <p>若者が多くの人に出会い、将来の可能性を広げ、楽しみながら新しいことに挑戦できる環境づくりを進めます。</p>  |
| <p><b>主な施策</b></p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 若者が将来の可能性を伸ばすための学びと交流、長岡版イノベーションを推進する拠点として、米百俵プレイス（仮称）人づくり・学び・交流エリアの整備を進め、将来を担う人材を育成します。</li> <li>● 時代が求めるデジタルテクノロジーなどの知識を得られる機会や、年齢に応じた仕事体験事業などを実施することで、若者が楽しみながら、学校以外での学びや体験をできる機会を充実し、仕事や将来の進路の多様な選択等につなげられるよう支援します。</li> <li>● 若者が地元企業、地域で活躍する人、各分野の第一線を担う人など、多彩な人々と出会い、交流する機会を設け、若者を支えるネットワークの形成と、新たなアイデア創出・実現につなげます。</li> </ul> |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/>1 - 3</p> | <p>長岡在住の若者に対し、長岡で暮らす魅力を伝えるとともに、地元就職のサポートなどを行うことで、若者の転出を抑制します。</p>  |
| <p><b>主な施策</b></p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育機関や産業界と連携し、進学や就職で長岡を離れる前に、長岡で学ぶこと・働くこと・暮らすことによる長岡の魅力を十分に伝え、体験してもらうことで、若者の定着を促します。</li> <li>● 様々な形で男女が出会う機会の提供や支援を行い、長岡で家庭を築き、暮らし続けたいと思う若者を増やします。</li> <li>● エンパワーメント<sup>※</sup>やワーク・ライフ・バランス<sup>※</sup>セミナーなどにより、女性の活躍を応援するほか、性的少数者（LGBT）への理解促進・支援に取り組み、男性も女性も働きやすく、誰もが互いの人権を尊重し合う社会の実現を目指します。</li> </ul> |

※エンパワーメント…個人として、そして/あるいは社会集団として、意思決定過程に参画し、自律的な力をつけること。

※ワーク・ライフ・バランス…「仕事と生活の調和」と訳され、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会のこと。

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <p><b>基本施策</b><br/><b>1 - 4</b></p> | <p>長岡を離れた若者や市外に住む若者に対し、学びや仕事・生活情報等で長岡の魅力を発信し、若者の転入を促進します。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長岡を離れた若者や市外に住む若者に対し、長岡で暮らしたいと思うような総合的な情報を発信し、Uターン・Iターンを促進します。</li> <li>● 4大学 1高専 15 専門学校等と連携し、長岡で学びたいと思うような情報を発信し、進学による転入を促進します。</li> <li>● 地域おこし協力隊の活用による地域の魅力の掘り起こしや、シティプロモーション事業などにより、長岡の魅力を発信し、若者の転入を促進します。</li> </ul> |

## ■戦略2 子育て

子育て環境を充実し、子どもや家庭に寄り添った切れ目のない支援をすることで、長岡で子どもを産み育てたいと思うまちづくりを進めます。

### 定性目標

長岡で子どもを産み育てたいと思う人を増やします。

### 数値目標

子育て環境や支援の満足度を高めます。

子育ての環境や支援への満足度※78.5% → 85%  
(平成30年度) (令和5年度)

※「長岡市子育て・育ち“あい”プラン策定に関するニーズ調査」の調査項目「長岡市における子育ての環境や支援への満足度について」

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/><b>2-1</b></p> | <p>一人ひとりの子どもや保護者に丁寧に寄り添い、多様なニーズに対応する支援を行うことで、長岡で安心して子どもを産み育てようとする人を増やします。</p>  |
| <p><b>主な施策</b></p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長岡オリジナルの“保育士のいる屋根付き公園”“子育ての駅”などで子育てを積極的に支援します。</li> <li>● 安心して出産、子育てができるよう妊娠期から育児まで切れ目のない支援（長岡版「ネウボラ」※）を展開するとともに、若者がやがて自身も家庭をもつ世代になるという意識の醸成を図ります。</li> <li>● 発達が気になる子や配慮を要する子について、「すこやかファイル」などで幼児期から義務教育修了まで継続した教育、支援を行います。また、子育て家庭への支援体制を整備し、子どもたちの健やかな育ちを支援します。</li> <li>● 子どもたちの将来が、生まれ育った環境によって左右されることなく、未来に夢や希望を持てるよう、生活困窮世帯への支援を行います。</li> </ul> |

※長岡版ネウボラ…保健師や助産師など専門職員が、妊娠期から就学前にかけて切れ目なく家族を支援するもの。市独自の子育ての駅や、子育てコンシェルジュ、子育てサポーター等と連携し取り組む。

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/>2-2</p> | <p>仕事と子育ての両面から、職場や地域などで保護者をサポートし、市民みんなで子育てをする環境を整えることで、長岡で子育てしたいと思う人を増やします。</p>  |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 働く企業での事業所内保育や地域主体の放課後児童クラブなど企業・地域・多世代が連携して、市民みんなで子育てをする家庭を支援します。</li> <li>● 保育施設の適正配置や保育施設の改修などにより、快適な保育環境の整備を進めます。</li> <li>● 働きやすい職場づくりを推進し、子育てを応援する企業を増やします。</li> <li>● 若者を対象とした安価な賃貸住宅の提供など、生活環境を支援します。</li> <li>● 子どもが楽しく歩き、長岡の子育てに幸せを感じる、人に優しい道づくりを進めます。</li> </ul> |

|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p><b>基本施策</b><br/>2-3</p> | <p>幼少期から食育や運動の基本を身に付ける取り組みを進め、子育ての一環として親子両世代の健康づくりを支援します。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育園の親子食育講座などで、子どもと保護者の食育と運動への関心を高め、早期の子育て段階から家庭における健康な食生活の基礎づくりを進めます。</li> </ul> |

## ■戦略3 教育

米百俵の精神で、質の高い教育と教育環境の整備を進め、長岡に住み続けたい人、長岡に帰って来たい人、未来の長岡を背負って立つ人を育てます。

### 定性目標

ふるさとへの愛着と誇りを持ち、様々な立場で長岡を支えることのできる柔軟でたくましい人材を育てます。

### 数値目標

ふるさと長岡への愛着を持ち、貢献する意欲を育みます。

|                  |         |   |         |
|------------------|---------|---|---------|
| 小学校 <sup>※</sup> | 62.1%   | → | 70%     |
| 中学校 <sup>※</sup> | 47.9%   | → | 55%     |
|                  | (令和元年度) |   | (令和6年度) |

※全国学力・学習状況調査：地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/><b>3-1</b></p> | <p>教育施策の充実に努め、長岡への愛着と誇りを持ち、将来にわたり住み続けたいと思う人を増やします。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長岡への愛着と誇りを持てるよう、地域力・市民力を活かしたオール長岡でふるさと学習や伝統芸能、まつりなどの伝承に取り組みます。</li> <li>● 子どもの個性や可能性を伸ばし、これからの社会を生き抜く資質や能力を育てます。</li> <li>● 熱中、感動、本物体験の場の提供を充実し、子どものやる気や学ぶ意欲を高め、地域や自然を愛する心を育みます。</li> <li>● 人口減少に歯止めをかけ、豊かな社会を築いていくため、家族や家庭の意義について学ぶ教育を進めます。</li> </ul> |

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/><b>3-2</b></p> | <p>魅力ある行き届いた教育と環境づくりを進め、教育のまちとしての価値を高めることで、U・Iターンを含め、長岡の教育を受けたい、受けさせたいと思う人を増やします。</p>  |
| <p><b>主な施策</b></p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもサポート体制の充実により、いじめや不登校、特別支援教育などに適切に対応し、安心して学べる教育環境をつくります。</li> <li>● 基礎・基本を確実に習得させ、これを活用する力を育むことにより確かな学力を育成します。</li> <li>● 経済的理由により就学困難とならないように、教育への経済的負担を軽減するための支援を充実します。</li> <li>● 保幼小中の連携を円滑にし、切れ目のない子育て支援と教育を行います。</li> <li>● 校舎の大規模改修や教材の充実など、教育環境の整備を進めます。</li> </ul> |

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| <p><b>基本施策</b><br/><b>3-3</b></p> | <p>未来の長岡を背負って立つ創造力豊かな人材の育成に、オール長岡で取り組みます。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたちが安心安全にスポーツに取り組める環境を整備し、心身ともに健全な人材を育成します。</li> <li>● 英語教育や国際理解教育を充実し、世界に通じる人材を育みます。</li> <li>● 熱中、感動、本物体験の場の提供を充実し、子どもの個性や能力を伸ばします。</li> <li>● 教育による人づくりの大切さを表わす、「米百俵の精神」の普及・啓発を進めます。</li> </ul> |



## ■戦略4 働く

若者が魅力を感じて働きたくなるように、頑張る地元企業・地場産業の支援に加え、起業・創業や企業誘致を産官学金の総合力で推進します。

### 定性目標

若者が魅力を感じる企業・事業者を増やし、企業の認知度を高めます。

### 数値目標

|  |  |
|--|--|
| 起業・創業の件数を増やします。                          | 起業した件数 <sup>※1</sup> 30件/年 → 41件/年<br>(平成30年度) (令和6年度) |
| 付加価値を高められる企業・事業者の集積を図ります。                | 事業計画承認件数 <sup>※2</sup> 17件 → 40件<br>(平成30年度) (令和6年度)   |
| 担い手の育成・確保や若者が魅力を感じて農林水産業を続けられる環境整備を進めます。 | 担い手農家の農地利用割合 64.5% → 70%<br>(平成30年度) (令和6年度)           |

※1 起業支援センターながおかでの支援により起業した件数/年

※2 地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画承認件数（累計）

|                    |  |
|--------------------|--|
| <b>基本施策</b><br>4-1 | 4大学1高専や産業界と連携するNaDeC構想 <sup>※</sup> に基づき、学生の起業・創業や新技術を活用したイノベーションにより、新産業の創出に取り組みます。  |
| <b>主な施策</b>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題解決の経験から、起業マインドを醸成し、起業とその後の成長までを支援する起業支援エコシステム<sup>※</sup>を構築し、学生の起業・創業を支援します。</li> <li>● 新技術を活用し企業や社会の課題を解決するイノベーション・ハブ<sup>※</sup>の事業などを行うことにより、画期的な新製品の開発や新産業の創出を目指します。</li> <li>● NPO法人長岡産業活性化協会NAZEと連携し、AI<sup>※</sup>、IoT、ロボット技術を活用し、生産性の向上を進めるとともに、長岡のものづくりブランド力を高めます。</li> </ul> |

※NaDeC構想・・・「人づくり・産業振興」の拠点における機能や事業について、3大学1高専（長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校）から提案を受けた構想。NaDeCは、長岡（Nagaoka）の中心市街地を核として、3大学1高専の位置を線で結ぶと三角すい（Delta Cone）の形となることから、その頭文字を取ったもの。現在は長岡崇徳大学も加入し、4大学1高専となっている。

※起業支援エコシステム・・・起業家が自律的、連続的に生み出される仕組み。

※イノベーション・ハブ・・・幅広い分野の知恵や技術を有する、企業を中心とする技術革新の主役が集う基盤。

※AI・・・artificial intelligence の略。人工知能。

|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p><b>基本施策</b><br/>4-2</p> | <p>地元企業・地場産業の成長・発展を産官学金の総がかりで支援し、地域経済を牽引する企業群の形成を目指します。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 産官学金の連携と各種支援制度を有効活用し、企業の新技術・新製品の開発や新分野進出などを積極的に進めます。</li> <li>● 国や県が重点的に取り組む事業承継に関する情報を積極的に発信し、地元企業・地場産業の後継者育成を支援します。</li> <li>● 地域企業のグローバル化に向けて、高度な技術を持つ外国人材が活躍できる環境づくりに取り組みます。</li> <li>● 長岡が世界に誇る農水産物、加工品、ノウハウを持った地場産業の海外展開を支援します。</li> </ul> |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/>4-3</p> | <p>グローバルな視点や高い技術と志を持ち、長岡の未来を支える産業人材の育成に取り組めます。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「Society 5.0<sup>※</sup>」を担う、世界に通用する人材を育成するため、AI プログラミング教室やロボコン<sup>※</sup>活動など、子どもや学生が学ぶ機会を増やします。</li> <li>● 高校や大学と連携し、地元企業・地場産業に対する理解を進め、農商工分野における先端技術の学習を促進し、産業人材の育成を行います。</li> <li>● 産業支援機関と連携して、地元企業・地場産業の生産性向上や稼ぐ力、収益力向上につなげられる産業人材を育成します。</li> </ul> |

※Society 5.0・・・仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。  
 ※ロボコン・・・ロボットコンテストの略。ロボットの設計、制作、制御に伴う技術を競うコンテスト。

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/>4-4</p> | <p>新たな産業団地の整備やIT系企業の拠点誘致を進めることで付加価値の高い企業を集積させ、雇用の拡大と地域経済の活性化を図ります。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 4大学1高専や産業支援機関との共同研究やインターンシップ支援など、長岡ならではの強み・魅力をPRして企業誘致を推進します。</li> <li>● 地元企業の隣接地拡張や域内移転などのニーズにも細かく対応し、産業界の動向と企業の業況を的確に捉え、新たな産業団地の整備を進めます。</li> <li>● 新幹線や高速道路など、高速交通網が整備されている長岡の強みを活かし、IT系企業のサテライトオフィスや開発拠点の誘致を目指します。</li> </ul> |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/>4-5</p> | <p>若者が働きたくなる企業群の魅力を発信し、近隣市町村と連携しながら地域に人材が集まる取り組みを進めます。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営の効率化や6次産業化<sup>※</sup>の推進により、担い手の育成・確保や若者が魅力を感じて農林水産業を続けられる環境整備を進めます。</li> <li>● 外国人や女性、高齢者、障害者など誰もが働きやすい職場環境づくりを促進します。</li> <li>● 高度な技術を持つ外国人材の活用を積極的に進め、地域企業のグローバル化と魅力向上を総合的に支援します。</li> <li>● 他地域との連携を深めるとともに、県内外の高校や大学に対してインターンシップや企業情報を発信し、長岡への就職を促します。</li> </ul> |

※6次産業化・・・1次産業としての農林魚業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組み。

## ■戦略5 交流・連携

長岡の歴史、文化、自然、特産品などの豊かな地域資源をさらに磨き上げ、広く国内外に情報発信することで「長岡ファン」を増やすとともに、近隣・関係市町村等との広域連携の積極的な推進や、国際的な交流の充実により、交流人口・関係人口を増やします。

### 定性目標

訪日外国人客をはじめとする交流人口・関係人口の増加を目指し、効果的な情報発信や新たなサービスの提供を促進します。

近隣・関係自治体との連携事業を強化します。

### 数値目標

長岡を訪れる人を増やします。

主要集客地点入込数 736万人 → 836万人  
(平成30年) (令和6年)

JR長岡駅乗車人数<sup>※1</sup> 212万人 → 220万人  
(平成30年度) (令和6年度)

市内5IC利用台数<sup>※2</sup> 1,240万台 → 1,312万台  
(平成30年度) (令和6年度)

※1 各駅の乗車人員（JR東日本）

※2 IC出入交通量（NEXCO東日本）

### 基本施策 5-1

中越地域を中心とした近隣市町村や共通資源を持つ関係市町村との連携、各関係機関との連携など、広域的な連携を強めて地域資源の魅力を高め、交流人口を増やします。

### 主な施策

- 近隣市町村が持つ様々な地域資源を結集し、各関係機関とも連携しながら中越地域全体の発展を目指します。
- 火焰型土器や良寛、北前船など共通の地域資源を有する関係市町村との連携を強め、その資源が持つ魅力を磨き上げ、広く情報発信に努めます。
- 豊かな地域資源の連携を高めるため、関東、北陸、東北などを繋ぐ道路ネットワークの形成をはじめ必要なインフラ整備を行います。

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/>5-2</p> | <p>姉妹都市・友好都市をはじめとした国内外の都市との歴史や文化を超えた幅広い交流を推進し、交流人口を増やします。</p>  |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外の姉妹都市・友好都市との青少年交流を実施するとともに、長岡に居ながらにして姉妹都市等に触れる機会を増やすことで、市民交流の裾野を広げ、さらなる相互交流を促進します。</li> <li>● 国内外の姉妹都市等との交流の機会を捉え、地域資源を活かした体験プログラムを実施するなど魅力の発信に努めます。</li> <li>● 国内の友好都市の市民団体などが互いの地域のまつりや交流イベントに参加することで、魅力ある地域づくりの意欲を醸成します。また、災害時には義捐金やボランティア派遣などの相互支援を行います。</li> </ul> |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/>5-3</p> | <p>長岡花火をはじめとする地域の宝を市民と一緒に磨き上げ、広く国内外に情報発信するとともに、長岡ならではの歴史や文化、自然風景などを活かし、訪日外国人客も含めた交流・体験・滞在型の交流人口を増やします。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の宝を市民と一緒に磨き上げ、長岡の魅力を強化し、広く国内外へ情報発信することにより、長岡に興味を持ち、長岡を訪れる人を増やします。</li> <li>● 訪日外国人客を含む来岡者の満足度向上のため、観光施設の整備をはじめとする受入れ体制の整備を行い、長岡への誘客を促進します。</li> <li>● 長岡の歴史や文化、自然風景などを活かした交流・体験・滞在型メニューを提供し、「長岡ファン」を増やします。</li> </ul> |

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| <p><b>基本施策</b><br/><b>5-4</b></p> | <p>「長岡ファン」とのつながりを大切にし、国内外から長岡を支える関係人口を増やします。</p>  |
| <p><b>主な施策</b></p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ふるさと納税やクラウドファンディングなどを活用し、長岡ファンのすそ野を広げます。</li> <li>● 「長岡ファン」をリピーターとして獲得することはもちろんのこと、「長岡ファン」からSNS等で国内外へ長岡の魅力を発信してもらうことで、さらなるイメージアップにつなげます。</li> <li>● 市出身者や長岡ファンからなる「ふるさと長岡応援倶楽部」の会員向けに、定期的に長岡の旬な情報や特産品のPRなどを行い、長岡への誘客促進と地域経済の活性化を図ります。</li> </ul> |

※クラウドファンディング…インターネットを活用し、ある目的や志などのため、全国あるいは世界中の人から資金を集める手段のこと。

## ■戦略6 安全安心

将来にわたって住み続けたいと思えるような、誰もが充実し、安全で安心して暮らすことのできる、快適なまちづくりを進めます。

### 定性目標

人と人がつながり、支え合う地域づくりを進めます。

都市機能を強化し、快適性を高めます。

### 数値目標

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアを推進します。

フェニックスネット<sup>※</sup>の参加機関数 181 機関→230 機関  
(平成 31 年度) (令和 6 年度)  
 登録者数 4,705 人→10,000 人  
(平成 31 年度) (令和 6 年度)

※フェニックスネット・・・利用者（患者）の情報をタブレットなど I C T を用いて関係機関で共有することにより、より安心・適切、かつ効率的な医療・介護の環境を構築する連携システム

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/><b>6 - 1</b></p> | <p>年代を問わず誰もが、できる限り住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、地域共生社会を目指した支援体制を充実させることで、福祉の増進を図ります。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、支援体制・サービスの充実を図り、医療・介護等の関係者の連携を推進します。</li> <li>● 障害のある人が生きがいを持って地域の中で安心して暮らしていけるよう、一人ひとりに合った適切な就労支援と社会参加・地域交流を促進します。</li> <li>● 福祉・介護の専門職をはじめボランティアなど様々な立場の人が、福祉の担い手として幅広く活躍できるよう、若者から高齢者まで多様な人材を確保・育成します。</li> </ul> |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p><b>基本施策</b><br/>6-2</p> | <p>地域保健活動の強化や各種健康データの活用を行いながら、生活習慣病、認知症・フレイル<sup>※</sup>などの予防や、こころの健康づくり、生きがいをづくりに取り組み、健康寿命の延伸を図ります。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康づくりに関心を持ち、先進の技術や理論に基づいた環境の整備と機会の提供を行うとともに、こころの健康づくりに積極的に取り組み、地域の中で健康を支えるしくみを構築します。</li> <li>● 特定健診やがん検診などを受診しやすい環境を整備し、各種健康データを活用・分析しながら、生活習慣病の発症予防と重症化予防の強化を図ります。</li> <li>● 高齢者がいつまでも元気で暮らせるよう、認知症やフレイルの知識普及などにより予防を推進するとともに、住民が主体的に介護予防活動に取り組む通いの場の充実を図ります。</li> </ul> |

※フレイル・・・加齢とともに、筋力や認知機能などの心身の活力が低下し、生活機能障害や要介護状態などの危険性が高くなった状態

|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p><b>基本施策</b><br/>6-3</p> | <p>防災・減災に資するインフラを整備するとともに、市民防災力の強化や防災体制及び消防・救急体制の充実強化を図ることにより、災害に強いまちづくりを進めます。</p>  |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内外の災害で得た教訓を活かしながら、要配慮者に対する支援体制づくり、情報伝達手段の多重化を進めるとともに、大規模災害に備え、防災情報の発信、避難所の開設・運営及び庁内体制などについて抜本的に見直し、さらなる防災体制の強化を図ります。</li> <li>● 地域の実情や様々な対象者に合わせた防災教育・普及啓発により、防災に対する市民の理解を促すとともに、地域の防災リーダーの育成や地域主体の防災活動を支援することで、市民防災力、地域防災力の維持・向上を図ります。</li> <li>● 救命率の向上のため、救急救命士や指導救命士を養成するなど、隊員の教育訓練を実施するとともに、市民に対してA E D講習などの応急手当普及啓発活動を行います。</li> <li>● 大規模災害時にも継続して活動をすることができる消防庁舎の整備や老朽化した車両、資機材を計画的に更新するとともに、災害用ドローンなどの新たな技術を活用して災害対応力を強化していきます。</li> <li>● 災害時における救助活動や支援物資輸送を支える幹線道路網の強化を図り、緊急輸送路等の多ルート化を図ります。</li> <li>● 浸水、冠水の原因となっている狭小または荒廃した河川や排水路を整備及び雨水管の増強やポンプ場、貯留施設の整備などを行い、市街地の排水能力を高めます。</li> <li>● 緊急排水体制を強化することで被害軽減を図るとともに、市民自ら取り組む雨水貯留設備設置等の自助の活動を継続的に支援し、協働による雨水対策を推進します。</li> <li>● 自主的な森林整備活動を行う団体の運営を支援し、森林の防災機能の維持を図ります。</li> </ul> |



|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p><b>基本施策</b><br/>6-4</p> | <p>地域の実情や変化する時代に合った生活環境の整備により、最適な公共サービスを提供します。<br/>既存インフラ、公共建築物は、新たな発想を取り入れながら、計画的に改修や修繕を行うことで長寿命化を推進するとともに最適な施設の配置を行い、地域の暮らしを支えます。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存インフラ、公共建築物は計画的に改修・修繕を行い、施設の長寿命化を目指します。また、新たな発想を取り入れ、既存施設を賢く活用しながら、最適な規模や施設配置に見直します。</li> <li>● 新たな技術や市民の力を活用し、雪を苦にせず安心して暮らせるまちづくりを進めます。</li> <li>● 誰もが生きがいづくりや社会貢献活動を通して自己実現を図ることができるよう、通い・集い・学びの場を整備します。</li> </ul> |

|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p><b>基本施策</b><br/>6-5</p> | <p>時代の変化と地域特性を踏まえ、公共交通など移動手段の確保や住宅ストックの有効活用を支援するとともに、新たな技術導入や支援体制の充実により、暮らしにおける不安解消や利便性の向上を図ります。</p>  |
| <p><b>主な施策</b></p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活基盤を確保するため、地域の実情に合った公共交通の維持に努めるとともに、誰もが利用しやすい公共交通を目指します。</li> <li>● 住宅関連団体との連携や空き家バンクにより、中古住宅等の流通や活用支援に役立つ情報を提供します。また、既存住宅の改修を支援するとともに、空き家の活用や多世代にわたって快適に住み続けられる住環境整備を促進します。</li> <li>● 高齢者事故防止の安全策を展開し、高齢者の交通事故防止を図るとともに、地域での効率的な「ながら見守り」の推進等により、犯罪抑止を図ります。</li> <li>● 生活様式が多様化する中、時間や場所を問わず申請・手続きができる電子申請を拡充し、利便性の向上を図ります。</li> </ul> |

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| <p><b>基本施策</b><br/><b>6-6</b></p> | <p>人口減少など、地域の実情を踏まえた身近なコミュニティの形成や住民が力を発揮できる環境づくりを進め、それぞれの連携・交流の推進により、地域の活性化を図ります。</p>   |
| <p><b>主な施策</b></p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもから高齢者まで、誰もが安心して利用できるコミュニティ活動の拠点や環境づくりを進めます。</li> <li>● 過疎高齢化集落の除雪・移動・見守りといった課題に対応するため、集落支援員<sup>※</sup>を配置するほか、よたかり場<sup>※</sup>の設置、除雪共助組織の活動強化等を実施します。また、地域おこし協力隊の活用による地域の魅力の掘り起こしにより、地域コミュニティと共助の強化及び地域の活性化を支援します。</li> <li>● 翻訳ツール等の活用により多言語対応の強化を図るなど、国籍に関わらず安心して暮らすことができる環境を整え、誰もが輝ける、多様性を活かしたまちづくりを進めます。</li> </ul> |

※集落支援員・・・過疎高齢化が進む集落を維持するため、関係機関との橋渡しや見守り、共助の促進等に取り組む人材。総務省の制度。

※よたかり場・・・既存の集落施設を活用し、集落住民の誰もが気軽に立ち寄り、お茶飲み話しができる新たな拠点として、サロンなどを通じコミュニティの強化による助け合いの促進を図る場。